

# 北国脇往還

## 街道・宿場・湊

### 伊吹町春照宿

#### ◆春照宿の概要

春照は、その昔「水上」と称されていた頃、たびたび大火に見舞われ、困り果てた村人が、行者に相談したことから地名がよくないということから、村名を春照と改めたと伝えられています。

春照宿は、北陸への宿場であると共に長浜からの湖上交通の中継拠点でもありました。また、加賀前田家をはじめ、福井藩、鯖江藩、小浜藩など北陸の雄藩が参勤交代に利用しました。

藤川宿からは一里十町、小谷宿へは三里二町の位置にあります。

度重なる大火により、あまり資料は残っていないようですが、宿場の規模としては、本陣一軒、脇本陣二件、北国屋、ます屋、若狭屋、亀屋、角屋、松浦屋、福井屋などの旅籠や茶屋が軒を連ね、伊吹大根などの名物が売られ、賑わいを見せていました。

神が祀られており、春照の氏神として信仰を集めています。姉川合戦に向かう織田信長が戦勝祈願したとも伝えられています。

この八幡神社の道角に道標があり、

「右 北国 きのもと えちぜん 道」「左 ながはまみち」と刻まれています。

春照宿の中を通ってきた街道は、この八幡神社で別れ、左へ進めば朽木街道と呼ばれる長浜湊へ向かいます。右に折れ北へ進むのが北国脇往還で、木之本や越前へと続いているのです。



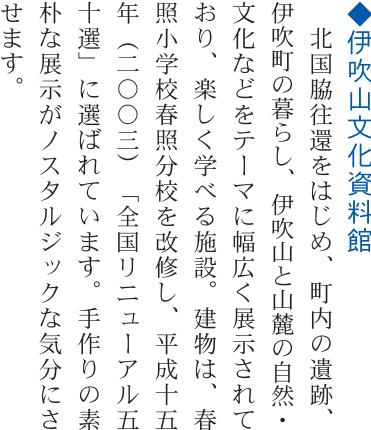
八幡神社



春照宿散策マップ



伊吹山文化資料館



#### ◆伊吹山文化資料館

北国脇往還をはじめ、町内の遺跡、伊吹町の暮らし、伊吹山と山麓の自然・文化などをテーマに幅広く展示されており、楽しく学べる施設。建物は、春照小学校春照分校を改修し、平成十五年（二〇〇三）「全国リニューアル五十選」に選ばれています。手作りの素朴な展示がノスタルジックな気分にさせます。

宿場の南側には、常夜燈があります。

秋葉神社の常夜燈で、文政十一年（一八二八年）に建立されています。



常夜燈



春照宿のまちなみ



道標

#### ◆ステンショ道

常夜燈から南西へ下る道は通称「ス

テンショ道」と呼ばれます。明治十六年（一八八三年）から二十二年（一八八九年）まで、関ヶ原から長浜間に鉄道が通っていた頃、春照宿の南西に春照駅が置かれており、この道は駅へ向かうための道であつたことから、そう呼ぶようになったようです。駅舎は現在ではなく、鉄道も現在の東海道線のルートへ変更となり、鉄道跡は国道三六五号線に踏襲されています。駅舎は現在ではなく、鉄道も現在の東海道線のルートへ変更となり、鉄道跡は国道三六五号線に踏襲されています。



ステンショ道 現在のようす

#### ◆道標

春照宿の西（北）のはずれに八幡神社があります。天智七年（六六八年）創建と伝えられ、応神天皇をはじめ四